

親子聖書日課

NO.1440 2016.5/1-7 名前

[日]自分にとって都合のよい御言葉は受け入れますが、反する御言葉は退ける、これは高慢な態度です。その人は、主が語られても「偽りだ」と否定します。自分を無にして、どんな御言葉でも聞き従いましょう。神の約束は必ず実現します。

[月]異教の神々を拝み、主の憎む忌まわしい事を行うのはユダの民だけではありません。日本人も八百万の神を拝み、何でも信心することが大切だと考えます。偶像礼拝を行っては、「誰一人悔いて、神を畏れません」真の主を信じましょう。

[火]ユダの人々は現象から神を見ようとして偶像礼拝にのめり込んだのに対して、エレミヤは神の言葉から歴史の動きをみました。主の言葉だけが実現しますから、主の忌み嫌われることは今すぐ捨てて、主に従いましょう。人生は祝福されます。

[水]バルクはエレミヤの書記として、エレミヤと苦難を共にしたので、疲れしました。それに対する主の答えは、「あなたの命だけは、どこへ行っても守る」と云われました。の言葉だけが実現するのです。人から嫌われても、御言葉だけを語りましょう。

[木]紀元前605年、ユーフラテス川で史上最大の戦闘があり、バビロン軍がエジプト軍に勝利します。エジプト軍が負けたのは「恐怖が四方から迫った」からです。勇士でも恐怖には勝てませんが、死に勝利された主を信じる時、恐怖は除かれます。

[金]主は今も「剣を取られ」ます。それは罪人を滅ぼすためではなく、罪を断ち切って清い主の民を造るためです。その主の剣とは御言葉です。御言葉は説明するものでなく、相手の心に切り込むものです。必ず、悔い改める人が起こさるでしょう。

[土]世の中、頼りになるのは、自分の力と金だと思ふことは誤りです。モアブは「自分の業と富に頼ったゆえに」滅ぼされました。全ては主の恵みによります。自分の力に頼らず、主に頼りましょう。決して罪に心が「占領される」ことはありません。



	聖書	問題	答え
日	エレミヤ 43:1-13	高慢な人々は「あなたの言っていることは何だ」と言いましたか。	
月	44:1-19	自分の手で何を造り、主を怒らせ、自分を滅ぼしましたか。	
火	44:20-30	主は悪行や忌むべきことをもはやどうすることはできませんか。	
水	45:1-5	主は建てたものを、どうされますか。	
木	46:1-28	何が四方から迫る、と主は言われましたか。	
金	47:1-7	災いだ、主は何を取られましたか。	
土	48:1-20	自分の何と何に頼ったゆえに、お前もまた占領されますか。	
感想と祈りの課題			